

■四季の自然観察会 2025～森の玉手箱

後援：千葉市教育委員会

四季折々の共生の森を観察し、自然体験を通して、豊かな感性を育てます。

森で植物や昆虫に出会い、木の実を味わい、天然の素材で作品を作り、ネイチャーゲームを通して親子で楽しく体験します。自然に親しみ、自然とのつながり、自然の不思議を感じてください。



四季折々の森を観察



落ち葉や木の実で絵画展



ドングリクッキーを味わう

日時：年4回 春：4月27日（日） 夏：7月20日（日） 秋：11月2日（日）

冬：翌年2月22日（日） 10:00～12:30（2時間半）

会場：植草学園大学（千葉市若葉区小倉町） 植草共生の森

内容：春：木々の芽吹きと昆虫観察、野菜の天ぷらなど。夏：生き物調べ、草木染め、ネイチャーゲーム。  
秋：どんぐりクッキー、森の美術館。冬：昆虫の冬越しと冬芽・葉痕の観察、火起こしなど。

講師：亀井 尊氏（自然観察指導員） 石井 信子氏（日中韓環境教育研究会会員）  
田島 澄雄氏（元環境学習アドバイザー）

対象：年長児～中学生の子どもと保護者（20組） 先着順に受け付けます。

※指導者養成研修として、自然観察と指導方法を学びたいちばサイエンスの会会員と有志（高校生以上）の参加を受け付けます。参加費無料、運営の補助をしていただきます。

参加費：子ども 1人 4,000円（材料費・保険代など初回時集金） 2人目以降は 1人 3,000円

持ち物：筆記用具と必要な用具（メールで事前に連絡します）

申込：ホームページから。